

甲南大学の
すべてがわかる!

最新情報はココでチェック!

甲南大学の「今」をお届け!

受験生向け情報サイト

甲南 Ch.

今すぐ
チェック▶



入試やキャンパス情報などの情報が満載! /



POINT 1
最新のコンテンツ
随時更新中

POINT 2
入試のポイント
わかりやすく解説

POINT 3
甲南大学の
魅力がわかる

学部学科の情報や動画もチェック!

甲南大学 HP [文学部]



学部の学びを
今すぐチェック▶



甲南大学 YouTubeチャンネル



甲南大学の魅力
を動画でチェック▶



最新の情報は SNSでチェック!

甲南大学のリアルな
キャンパスライフをお届けします

Instagramはこちら▶



甲南大学の魅力やイベント情報を
公式キャラクター「なんぼーくん」
がつぶやきます

Xはこちら▶



甲南大学を志望する受験生へ
大学や入試の情報を発信します

LINE登録はこちら▶



文学部

- 日本語日本文学科 □ 英語英米文学科
- 社会学科 □ 人間科学科 □ 歴史文化学科



KONAN INFINITY

甲南大学
2027

甲南大学だから伸ばせる、無限の可能性。



岡本キャンパス 周辺Map



大阪・神戸の両都市から
アクセス良好

主要駅から岡本キャンパスまでの所要時間

三宮から 約17分	神戸三宮	阪急神戸線 特急7分	阪急岡本	徒歩 10分
大阪から 約29分	大阪梅田	阪急神戸線 特急20分	JR 摂津本山	徒歩 12分
	大阪	JR東海道・山陽本線 新快速13分		
京都から 約59分	京都	JR東海道・山陽本線 新快速43分	十三	
	京都河原町	阪急京都線 特急38分		
姫路から 約62分	姫路	JR東海道・山陽本線 新快速39分	三宮	
			十三	
			三宮	

CONTENTS

- 学部TOPICS
- カリキュラム
- ゼミ・研究紹介
- 在学生インタビュー
- KONAN DATA

文学部

[日本語日本文学科] [英語英米文学科]
[社会学科] [人間科学科] [歴史文化学科]

ことばや文学、社会や歴史、心や芸術など人文学のさまざまな分野を5つの学科で学びます。
甲南大学ならではの学びで人間の知識や文化の根源を探究し、社会や世界への理解を深めます。



5学科の学び

社会や世界を理解するために人間の知識や文化の根源を探究していくのが、人文学(Humanities)という学問。
5つの学科で、さまざまな分野を学びます。



甲南大学ならではの、学びのポイント

学部TOPICS

自分の目的に応じて選択できる甲南大学ならではの彩り豊かな教育プログラム、
「彩り教育」をもとに学びを展開しています。

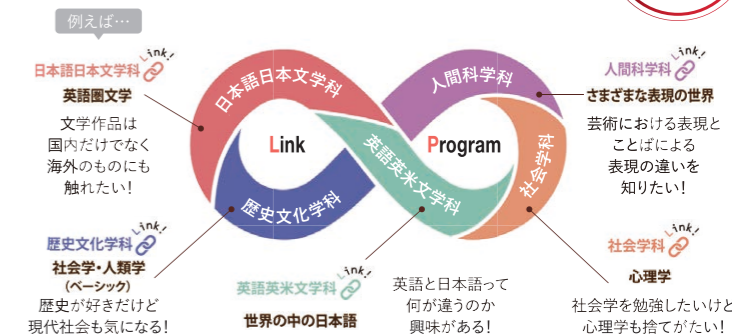
彩り教育について
詳しくはこちら▼



TOPIC

01 リンク・プログラムで学べる、 もう一つの専攻分野

自分が入学した学科の専門科目を究めることが基本となりますが、文学部の他学科の単位を体系的に受講することで修了認定が受けられる、「リンク・プログラム」という制度もあります。日本語や英語などのことばや文学、社会や歴史、心や芸術などの人文学のさまざまな分野を、日本語日本文学科、英語英米文学科、社会学科、人間科学科、歴史文化学科の5つの学科から、学科の枠を超えて学ぶことが可能です。他の学科の専門科目を学ぶ中で幅広い知識と実践力を養い、自分自身と社会、世界をつないで理解を深めることができます。



彩り教育

プログラム紹介

- 世界の中の日本語
- 英語圏文化
- 社会学・人類学 (ベーシック)
- 哲学・倫理・公共
- 芸術実践
- 歴史文化学
- さまざまな表現の世界
- 英語圏文学
- 社会学・人類学 (アドバンス)
- 心理学
- ヨーロッパ文化スタンダード
- 英語学
- 美術史・芸術学

TOPIC

02 学科の枠を超え、時代に求められている 全人的な成長を促す「横断演習」

学科の垣根を越えて、5つの学科の学生が共に学ぶことができる「横断演習」という授業が用意されています。その年ごとに「映画で学ぶ移民」など授業テーマを決めて、ディスカッションや現地でのフィールドワーク、グループごとの発表や創作活動などに取り組みます。多角的なものとらえ方に触れながら、異なる考え方を体感できます。専門の研究領域が異なる学生と互いに刺激合いながら、自分の意見を他者に伝え、協働していく力を身につけていくことが可能です。



多様で柔軟な
思考力・表現力を
身につける

彩り教育



日本語 日本文学科

日本語日本文学科では、日本語を学問として探究し、日本語で表現された文学を多面的かつ深く学びます。この2つの学びから、日本語の高度な理解力と表現力を磨き、日本の言語や文化を世界に発信する力を養います。

POINT 1 少人数授業で、楽しみながらアカデミックなスキルを培う

1年生の時は、「基礎演習」というゼミで、大学で必要となる基礎的な調査や研究の方法を修得します。2年生からは専門のゼミ(2年生の「演習Ⅰ」と3年生の「演習Ⅱ」)に分かれます。ゼミでの発表や討議を通じて、社会人として必要となる「企画力」「プレゼン能力」「協働する力」などが身につきます。4年生(「研究演習」)では集大成として卒業論文を完成させます。



POINT 2 ことばと表現のプロフェッショナルをめざす

ゼミを中核とした専門領域の学修を通じて、実社会で評価される表現と理解の力を鍛えます。卒業後は、日本語日本文学科で取得できる資格を生かし、中高の国語教員、外国人に日本語を教える日本語教員、図書館司書や司書教諭として活躍しています。



取得できる資格

- 中学校教諭一種免許(国語)
- 高等学校教諭一種免許(国語)
- 登録日本語教員

キャリアデータはP.17へ

4年間のカリキュラム 甲南大学ならではのカリキュラムで、日本語と日本文学を多面的に理解し、世界へ発信する力を養う。

1年次 4年間の学びの基礎をつくる

日本語と日本文学への理解を深めるとともに、大学での調査・研究の方法を学びます。

2年次 日本語と日本文学を多角的に学ぶ

ゼミに所属し、さまざまな観点から、多角的に学びます。

3年次 深めたい研究分野を模索

専門的な学びを深めながら、自分が研究していきたい分野を模索・検討します。

4年次 卒業研究で学びの成果をまとめる

これまで学んできた内容をもとに各自でテーマを決め、卒業研究に取り組みます。

必修科目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ ■ 日本文学概論Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 演習Ⅰa・Ⅰb 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 演習Ⅱa・Ⅱb 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研究演習 ■ 卒業研究 	
基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本語表現法Ⅰ・Ⅱ □ 日本文学史Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb 	<ul style="list-style-type: none"> □ 漢文学Ⅰa・Ⅰb □ 漢文学Ⅱa・Ⅱb 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本語史Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本語文法論Ⅰ・Ⅱ 	<p>! CHECK</p> <p>平安～鎌倉時代の絵巻の詞書と描かれた図像の関係を考え、製作過程について学びます。</p>
発展科目	日本文学分野	<ul style="list-style-type: none"> □ 上代文学講読Ⅰ・Ⅱ □ 近代文学講読Ⅰ・Ⅱ □ 現代文学講読Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 中古文学講読Ⅰ・Ⅱ □ 近代文学講読Ⅲ・Ⅳ □ 現代文学講読Ⅲ・Ⅳ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 中世文学講読Ⅰ・Ⅱ □ 近世文学講読Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 上代文学研究 □ 近代文学研究 □ 現代文学研究
	日本語のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> □ 言語学概論Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本語音声学Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本語学概論Ⅰ・Ⅱ □ 現代日本語研究Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本語学特殊講義Ⅰ
	日本語と社会	<ul style="list-style-type: none"> □ マスコミ言語研究Ⅰ・Ⅱ □ 日本語教育概論Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 社会言語学Ⅰ・Ⅱ □ 対照言語学Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本語学特殊講義Ⅱ □ 日本語教育研究Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本事情 □ 日本語教育特殊講義
	共通分野		<ul style="list-style-type: none"> □ 文学と表現Ⅰ・Ⅱ □ 比較文学特殊講義 □ ことばの研究 	<ul style="list-style-type: none"> □ 関西のことばと文学 □ 書道 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本文学特殊講義Ⅰ・Ⅱ □ こどもの文学とことば □ 日本の舞台芸術
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> □ 横断演習Ⅰ・Ⅱ □ IT応用 □ 阪神文化論 	<ul style="list-style-type: none"> □ 社会心理学 □ 文化人類学 □ 多文化共生論 □ 地域社会論 	<ul style="list-style-type: none"> □ 情報社会論 □ 現代文化論 □ 文学思想史 □ 発達心理学 	<ul style="list-style-type: none"> □ 民俗学の諸問題Ⅰ・Ⅱ □ 地理学・民俗学資料研究Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 英語圏文化Ⅰ・Ⅱ □ 英語の獲得と理解 □ コミュニケーション研究 □ メディア研究

■:必修科目

(2026年度参考)

ゼミナール(研究室)一覧

学科詳細はHPへ



教員	テーマ	教員	テーマ
佐伯 暁子 教授	現代日本語の語彙研究 [研究分野] 日本語学、日本語文法の史的・現代日本語文法	田中 貴子 教授	説話、御伽草子を読む [研究分野] 平安時代から室町時代にかけての散文学、中世仏教文学
田中 雅史 教授	現代日本文学と精神分析モデルの比較研究 [研究分野] 近代文学の迷宮的イメージと精神分析(対象関係論)の比較	塚本 章子 教授	女性文学の研究、小説の注釈研究 [研究分野] 日本近代文学、樋口一葉を中心とする文学・思潮の研究
友田 義行 教授	20世紀短編小説の研究 [研究分野] 日本近現代文学、文学と映画の横断的研究、国語科教材研究	西尾 純二 教授	日本語生活の多様性研究 [研究分野] ことばやことばの違いの地域的、社会的、様式的な特徴形成についての研究
野々口ちとせ 教授	外国語としての日本語教育 [研究分野] 日本語教育学、言語生態学	廣川 晶輝 教授	『万葉集』の研究、和歌文学の研究 [研究分野] 『万葉集』を中心とした日本上代文学の研究

(2026年度)

授業 PICK UP



日本語学概論Ⅰ・Ⅱ

現代日本語の音声と音韻・文法・文字と表記・方言と共通語など8分野について学び、日本語がどのような特徴をもつのかを考えます。授業は主に講義形式で進めますが、一部グループワークも実施。日本語の仕組みや働きについて基礎知識を修得することで、私たちがあたり前のように使っている日本語を客観的に分析する力を養成します。

日本語教員をめざすうえでも重要な学び。理解が深まるたびワクワク胸が躍ります

文学部 日本語日本文学科 1年次 山崎 陽菜さん
大阪府立生野高校出身

自分を指すことば、「私が」と「私は」の使い方の違いは? 普段、無意識に使っていることばも、説明を求められるとわからないことは多々あります。なぜ異なるのか、どんな規則性があるのかなど、日本語を細かく分析し、さまざまな視点から考える授業はとても面白いです。高校生のときから日本語教員になりたいと考えていた私にとっては、まさに重要な学びの一つ。これからも日本語にしっかりと向き合いながら、理解を深めていきたいです。



英語 英米文学科

世界の文化や歴史を理解することで身につく本物の語学力。4技能を総合した実践的な英語力を武器に、TOEICでの高得点をめざし、英語圏を中心とした国際社会の背景を探究します。英語英米文学科では、日々変化するグローバル社会で広く活躍できる人材を育てます。

POINT 1 4技能を総合した実践的な英語力養成

語学の4技能を、講読、イングリッシュ・フォーラム(ネイティブ講師による会話授業)、英作文などの英語授業で磨き、社会で武器になるTOEICでの高得点をめざします。



POINT 2 英語圏文化・英語圏文学・言語学の3つの専門分野

英語圏の「文化や歴史」、「文学」と「言語学」を広く学び、その中から自分が最も関心のある分野のセミナーを選択して課題を設定、卒業研究まで深化させていきます。



取得できる資格

- 中学校教諭一種免許(英語)
- 高等学校教諭一種免許(英語)

キャリアデータはP.17へ

4年間のカリキュラム

甲南大学ならではのカリキュラムで、英語を専門的に学び、実践的なスキルを身につける。

1年次		2年次		3年次		4年次		
英米文化・文学の基礎を学ぶ		多様な角度から、イギリスとアメリカの文化・文学、英語について学びます。		自分が研究していきたい分野を模索・検討し、留学にも挑戦します。		これまで学んできた内容をもとに各自でテーマを決め、卒業研究に取り組みます。		
演習科目	<ul style="list-style-type: none"> ●●基礎演習Ⅰa・Ⅰb 	<ul style="list-style-type: none"> ■○基礎演習Ⅱa・Ⅱb 	<ul style="list-style-type: none"> ■△セミナーⅠa・Ⅰb 	<ul style="list-style-type: none"> ■△セミナーⅡa・Ⅱb 	<p>! CHECK</p> <p>自分のテーマで研究を行い、教員の指導のもと卒業論文へとまとめます。</p>			
英語力向上	<ul style="list-style-type: none"> ● Japan in EnglishⅠ・Ⅱ 留学のための英語集中プログラム College English: Reading and Writing, Listening, Speaking 中級英語: Presentation, Writing 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 留学特別講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 留学のための英語集中プログラム 中級英語: Speaking, TOEFL, Global TopicsⅠ 	留学		<ul style="list-style-type: none"> △ English StudiesⅠ～Ⅷ 	<ul style="list-style-type: none"> ■△ Qualifying Test 全員TOEIC 600点以上のレベルをめざす 		
英語のスキル	<ul style="list-style-type: none"> ● ボキャブラリー・ビルディングⅠ・Ⅱ ● イングリッシュ・フォーラムⅠa・Ⅰb ● 時事英語Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 英作文Ⅰa・Ⅰb ● 講読演習Ⅰa・Ⅰb 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークショップⅠa・Ⅰb ○ イングリッシュ・フォーラムⅡa・Ⅱb 	<ul style="list-style-type: none"> ○ CALLⅠ・Ⅱ ○ 英作文Ⅱa・Ⅱb ○ 講読演習Ⅱa・Ⅱb 	<ul style="list-style-type: none"> △ ワークショップⅡa・Ⅱb・Ⅲa・Ⅲb △ イングリッシュ・フォーラムⅢa・Ⅲb △ ビジネス・イングリッシュⅠ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> △ 翻訳セミナーⅠ・Ⅱ △ 英作文Ⅲa・Ⅲb △ 講読演習Ⅲa・Ⅲb 		
英語学	<ul style="list-style-type: none"> ■● 英語学入門 	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語圏の文化・文学についてのリレー式講義で、学びの全体像を掴みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ! CHECK アメリカの歴史・文化を事象を通して学び、アメリカの今を考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語の文法 ○ 英語の音声 ○ 英語の意味 ○ 英語の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語のレキシコン ○ 英語の獲得と理解 ○ 英語学講座Ⅰ～Ⅳ 	<ul style="list-style-type: none"> △ 英語学研究Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ! CHECK 具体的な文学作品を取り上げて深く読みとり、さまざまな解釈を実践します。 	
専門教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 英・米・英語圏文化 ● 英・米・英語圏文学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 英米文化探訪Ⅰ・Ⅱ ● 文学探訪a・b 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アメリカン・スタディーズⅠ・Ⅱ ○ ブリティッシュ・スタディーズⅠ・Ⅱ ○ 英語圏文化Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西洋史概説Ⅰ・Ⅱ ○ 西洋史特論Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> △ 英米文化研究Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> △ 英米文学研究Ⅰ・Ⅱ △ 比較文学特殊講義 	<ul style="list-style-type: none"> ■△ 卒業研究 	
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習・言語心理学 ● 心理学統計法 ● 横断演習Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 西洋美術史 ● 比較文化論 ● 西洋史研究Ⅰ・Ⅱ ● 哲学入門 	<ul style="list-style-type: none"> ● マンガ・アニメ史 ● 芸術表象論 ● 多文化共生論 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史と思想 ● 融合フォーラム(ファンタジー) ● 融合フォーラム(文化と自然) ● 文学と表現Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本語文法Ⅰ・Ⅱ ● 日本語音声Ⅰ・Ⅱ ● 自然言語処理 			

■:必修科目 ●:基礎科目 ○:応用領域 △:発展研究

(2026年度参考)

ゼミナール(研究室)一覧

学科詳細はHPへ



教員	テーマ	教員	テーマ
秋元 孝文 教授	アメリカの現代小説や文化を通してアメリカ社会をとらえる [研究分野] 現代アメリカ文学およびアメリカ文化	岩井 学 教授	20世紀から現代のイギリス文学と文化をアカデミックに読み解く [研究分野] イギリスの文学と文化
大谷 祐二 准教授	20世紀初頭のモダニズム小説をジェンダー/セクシュアリティの観点から読む [研究分野] アメリカのモダニズム	上林 朋広 講師	現代社会の成り立ちを歴史から考える [研究分野] アフリカ史
杉浦 裕子 教授	シェイクスピアやその他の英国演劇を原文で味わう [研究分野] イギリス文学、シェイクスピアを中心としたエリザベス朝演劇	DUFFIELD Nigel G. 教授	第一言語習得と第二言語習得の違いを検証する [研究分野] 言語と認知、統語論、言語相対論
豊山 亜希 教授	視覚文化研究——イメージを読み解くための方法論 [研究分野] インドを中心とした大英帝国の芸術文化	中谷 健太郎 教授	言葉がどのような概念で構成されているかを検証する [研究分野] 意味論、心理言語学
浜本 隆三 准教授	19世紀米国人作家マーク・トウェイン研究 [研究分野] アメリカの文学と文化	福島 彰利 教授	英語の音声を生声学、音韻論の両側面からどのように記述できるか [研究分野] 英語音声学、論文と散文のリズム、二次強勢の機能
MARTIN Andrew T. 教授	言語の音韻規則がどのように構成されているかを検討する [研究分野] 音韻論、心理言語学		

(2026年度)

授業 PICK UP



セミナーⅠ・Ⅱ

ゼミ(セミナー)では、自分が選んだ分野に関するテーマを学生自身が自由に選択。3・4年次の2年間で、その課題・問題を議論しながら研究を深め、卒業論文に仕上げていきます。ゼミによって、他大学や他学部との合同ゼミ・作家を招いてのオープンゼミ・博物館などでの課外授業や、水耕栽培・観劇・合宿・マラソン大会など、さまざまな個性あふれる活動が行われており、自分に合ったゼミが見つかります。

時代も国境も超え、愛され続けるシェイクスピア作品をより深く、多角的に研究

文学部 英語英米文学科 4年次 堂馬 美帆さん
西宮市立西宮東高校出身

英語と古典文学に興味があり、シェイクスピア作品を題材に研究するセミナーを選択。1年で1作品を取り上げ、シェイクスピアならではの表現や文体の特徴などを分析し、発表・ディスカッションを通して理解を深めます。ゼミ生全員で彼の作品を実際に演じてみる機会もあり、劇作家としての彼の偉大さを体感できるのも、このセミナーならではの面白さです。大学院に進み、フランスの文学や演劇にも影響を与えたシェイクスピアの魅力に迫りたいと考えています。



社会学科

社会学科のカリキュラムの特徴は、5つの研究領域（「ライフスタイルと社会」「文化と共生」「サステナビリティと地域」「組織とネットワーク」「メディアコミュニケーションと表現」）によって社会学・人類学が対象とする多様な分野を体系的に網羅し、基礎・応用・発展という段階的学習をふまえながら柔軟に履修選択できるところにあります。

POINT 「社会を読み解き、現場で生かす」リサーチリテラシーを身につける

知識の習得にとどまらず、アンケート・インタビュー・観察など実践に基づく体験的学習とリサーチによって得た成果の発信に力点を置き、「現場で生かす」リサーチリテラシーを身につけます。



POINT 2 少人数のゼミを中心とした顔の見える学びの環境

人数が10人程度のゼミナールに2年次から所属し、グループ調査や卒業論文に向けた個人研究を進める中で、自主性と創造性、さらに他者と協働する力が身につきます。



取得できる資格

- 中学校教諭一種免許（社会）
- 高等学校教諭一種免許（公民）
- 社会調査士

キャリアデータはP.17へ

4年間のカリキュラム 甲南大学ならではのカリキュラムで、調査力・研究力・実践力を身につける。

1年次 さまざまな調査手法を学ぶ
2年次 5つの領域での学びを通して、視野を広げる
3年次 実践的なりサーチワークに挑戦
4年次 卒業研究で学びの成果をまとめる

文献の読み方などの大学での学び方と、社会学・人類学の研究に必要な調査手法を学びます。

さまざまな角度から自らの視野を広げます。社会について学び、

専門的な学びを深めながら、自分が研究したい分野やテーマを探究します。

これまで学んできた内容をもとに各自でテーマを決め、卒業研究に取り組みます。

社会調査士関連科目	● 社会調査法	○ フィールドワーク研究 ○ 計量社会学 ○ 社会統計学	△ 社会調査実践研究 △ 量的データ解析
実習・演習科目	■ 研究法入門演習 ■ 社会調査基礎演習	■ 共通演習 ■ ゼミナール1	■ ゼミナール2 ■ ゼミナール3 ■ ゼミナール4
基本科目・応用領域・発展研究	● 家族社会学 ● 社会人口論 ! CHECK 職業を生活のための手段としてだけでなく、みんなに開かれた場所“公共圏”をつくる営みとして捉え直します。	ライフスタイルと社会 ○ 現代家族論 ○ ライフコース論 ○ 生活福祉論	○ 社会階層論 ○ ▲ 労働経済Ⅰ・Ⅱ
	● 文化社会学 ● 公共社会学 ● 社会学概論 ● ▲ 阪神文化論	文化と共生 ○ 比較文化論 ○ 現代文化論 ○ 社会人類学	○ ジェンダー/セクシュアリティ論 ○ ▲ 融合フォーラム(ジェンダー) ○ ▲ 現代思想
	● 都市社会学 ● 文化人類学 ● 多文化共生論	サステナビリティと地域 ○ サステナビリティ論 ○ 市民社会学 ○ 環境社会学	○ 地域社会学 ○ ▲ 観光文明学Ⅰ・Ⅱ
	● NPO/NGO論 ● 社会心理学 ● 社会意識論	組織とネットワーク ○ ソーシャル・キャピタル論 ○ 社会ネットワーク論 ○ 集団組織論	○ 社会運動論 ○ ▲ 社会・集団・家族心理学 ○ ▲ 教育・学校心理学
	● メディア研究 ● コミュニケーション研究	メディアコミュニケーションと表現 ○ メディア文化論 ○ 映像文化論 ○ 創作過程論	○ 情報社会学 ○ ▲ 芸術社会史 ○ ▲ サウンドスケープ研究
関連科目	○ ▲ 横断演習Ⅰ・Ⅱ ○ ▲ IT応用 ○ ▲ 政治学入門	○ ▲ 日本史概説Ⅰ・Ⅱ ○ ▲ アジア史概説Ⅰ・Ⅱ ○ ▲ 西洋史概説Ⅰ・Ⅱ ○ ▲ 日本史研究Ⅰ・Ⅱ	○ ▲ 政治学原論 ○ ▲ 地誌Ⅰ・Ⅱ ○ ▲ 民俗学の諸問題Ⅰ・Ⅱ ○ ▲ 自然地理学

■:必修科目 ●:基本科目 ○:応用領域 △:発展研究 ◎:社会学科専門教育科目 ▲:他学科・他学部開講科目(応用領域の他)

学科・他学部開講科目のうち「社会・集団・家族心理学」「教育・学校心理学」「サウンドスケープ研究」「労働経済Ⅰ」以外は3年次配当科目)

(2026年度参考)

ゼミナール(研究室)一覧 学科詳細はHPへ



教員	テーマ	教員	テーマ
阿部 真大 教授	戦後社会のゆらぎの中で、労働、文化、家族の変容を考える [研究分野] 労働社会学、家族社会学、社会変動論	帯谷 博明 教授	地域の資源・環境をどのように保全活用していくのか、フィールドワークと事例を元に考える [研究分野] 環境社会学、地域社会学、市民参加論
金 セツピョル 講師	フィールドワークをもとに人間と文化を探究し、様々なメディアを用いて表現・コミュニケーションする方法を考える [研究分野] 文化人類学、死生観、人類学とアート	栗田 宣義 教授	ファッション、メイク、ポップカルチャーを社会的に考える [研究分野] 文化社会学、社会運動論、理論社会学
関めぐみ 准教授	マイノリティ(社会的少数者)の人権問題について考える [研究分野] ジェンダーとセクシュアリティの社会学、スポーツ社会学	田野 大輔 教授	現代社会におけるメディアと文化にかかわる問題を、さまざまな資料と調査を通して考える [研究分野] 歴史社会学・社会意識論、とくにナチスの大衆宣伝の研究
辻井 敦大 講師	都市空間の成り立ちをモノと社会の相互作用から考える [研究分野] 都市社会学、宗教社会学、人間・動物関係論	中里 英樹 教授	ジェンダー論および人口学をふまえて、日本と世界における個人・家族と働き方を考える [研究分野] 家族・人口・働き方の過去・現在・未来
星 敦士 教授	個人化する社会のなかで人々のつながりがもつ「支える力」について考える [研究分野] 計量社会学、社会ネットワーク研究	松川 恭子 教授	異文化理解、自文化理解について、様々なメディアを活用しながら考える [研究分野] 文化人類学、南アジア地域研究

(2026年度)

授業 PICK UP



発展研究F(メディアコミュニケーションと表現Ⅰ)

映像制作の基本と一連の制作プロセス(テーマ設定、企画、情報収集、取材、構成、撮影、編集、作品完成)を実践的に学びます。最後に作品の上映会を行い、成果を発信します。グループでテーマを設定し、映像人類学の知見も応用して制作を行います。コミュニケーション能力やメディアリテラシー能力を養うことができる授業です。

映像制作の全工程を体験 専門知識や技術だけでなく、映像表現の奥深さも学びました

文学部 社会学科 3年次 中田 優月さん
兵庫県立須磨東高校出身

映像制作において必要な企画、構成、取材、撮影、編集と、一連の流れが学べる実践的な授業内容に興味をもちました。グループで考えたテーマは、大学のある岡本地域と甲南大生とのつながり。大学近くの飲食店のマスターなどにインタビューし、撮影も行いました。授業を通して実感したのは、見る人が内容を認識でき、見やすい映像を制作することの難しさ。撮影や編集のコツなど技術的な力も身につけ、新しい甲南大学の魅力を伝える映像が完成したと思います。



人間科学科

心理学、哲学、芸術学を関連づけながら、理論と実践の両面から「人間とは何か」を探究する学科です。3つの分野をバランスよく学ぶことも、いずれかに重点を置いて学ぶこともできます。中学(社会)・高校(地歴・公民)の教員免許、公認心理師や博物館学芸員の資格取得をめざすこともできます。

POINT 1 少人数でのグループワーク

少人数でグループワークを行う授業が多くあります。同級生や先輩・後輩と議論を重ねることで、社会の問題や人間の心理について深く考える力、自分の考えを人に伝える力が身につきます。



POINT 2 実地での実践的な学び

教育現場や企業、博物館や地域のイベントなど、さまざまな現場に実際に足を運び、社会の多様な問題を体験的に学ぶことができる授業が充実しています。



* 青森市立美術館にて

取得できる資格

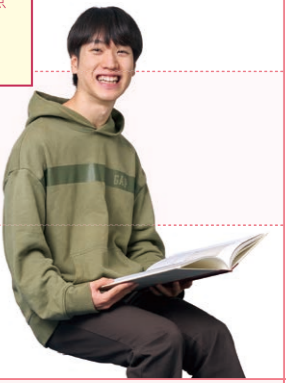
- 中学校教諭一種免許(社会)
- 高等学校教諭一種免許(地理歴史/公民)
- 博物館学芸員
- 認定心理士
- 認定心理士(心理調査)

* 公認心理師資格については大学HPを参照してください。

キャリアデータはP.18へ

4年間のカリキュラム 甲南大学ならではの体験的学習と多彩な資格に対応するカリキュラムで、将来の道を広げる。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	心理学・芸術学・哲学の基礎を理解する	各分野の理解を深め、より広く人間を知る	自ら定めた研究テーマを探索	卒業研究で学びの成果をまとめる
	心理学、芸術学、哲学から人間と心の動きにアプローチし、学びの基礎を固めます。	多彩な科目の学びから人間理解の視野を広げ、専門性を高めます。	専門的な学びを深めながら、自分が決めた分野でテーマを絞って調査・研究を進めます。	これまで学んできた内容をもとに、先生の指導を受けながら卒業研究に取り組みます。
分野共通	■ 人間科学入門 ■ 人間科学基礎演習 I	■ 人間科学基礎演習 II・III	■ 演習 Ia・Ib □ 演習 IIIa・IIIb	■ 演習 IIa・IIb ■ 卒業研究
心理学分野	● 学習・言語心理学 □ 心理学実験実習 ● 心理学概論 □ 心理学統計法 ● こころの科学 □ 発達臨床心理学 ● 発達心理学	★ トラウマ学 ★ 心理学と哲学	□ 心理的アセスメント □ 教育・学校心理学 □ 精神疾患とその治療 □ 神経・生理心理学 □ 社会・集団・家族心理学	● 心理学史 I・II □ 健康・医療心理学 □ 知覚・認知心理学 □ 心理尺度構成法実習 □ 心理地域援助
哲学分野	● 哲学入門 ● 応用倫理学 ● 倫理学基礎論	★ 融合フォーラム(死生学) ★ 西洋人間科学思想入門 I ★ 西洋人間科学思想入門 II ★ 西洋古典文化論	● 平和学 □ メディア哲学 □ 日本哲学史 □ ヒューマンライツ	□ 哲学思想史 □ 人間環境論 I・II □ 倫理思想史 □ 比較思想史
芸術学分野	● 文学思想史 □ サウンドスケープ研究 ● 日本美術史 □ マンガ・アニメ史 ● 西洋美術史 □ 視覚メディア論	★ アート・ワークショップ入門	● 芸術社会史 □ サブカルチャー研究 □ アート・ワークショップ実践	□ 身体表現研究 □ 現代芸術ワークショップ □ 現代芸術研究 □ 言語表現論 □ デザイン・ワークショップ入門 □ デザイン・ワークショップ実践
関連科目	・ 横断演習 I・II	・ 現代史 I・II ・ 日本文学史 IIa・IIb ・ 地域社会論 ・ 社会心理学	・ 社会意識論 ・ NPO/NGO論 ・ メディア文化論	・ 比較文学特殊講義 ・ ソーシャル・キャピタル論 ・ 日本の舞台芸術
資格科目	・ 博物館教育論 ・ 政治学入門 ・ 考古学 I・II ・ 博物館概論	・ 生活の中からアートを見つけてレポートしたり、アートを使った体験を共有します。 ・ 生涯学習概論 ・ IT応用	・ 歴史や映像分析、映画学の観点から、映画作品を考察・論述する手法を学びます。 ・ 民俗学の諸問題 I・II ・ 公共社会学 ・ 社会学概論 ・ 文化人類学 ・ 多文化共生論	・ 比較文学特殊講義 ・ ソーシャル・キャピタル論 ・ 日本の舞台芸術
	● 必修科目 ● 基礎科目 ★ 融合科目 □ 展開科目 ブルー文字:公認心理師科目	■ 分野融合領域		



(2026年度参考)

ゼミナール(研究室)一覧 学科詳細はHPへ

教員	テーマ	教員	テーマ
大澤 香織 教授	認知行動療法の理論と発端に基づいて、心身の健康に関する諸問題の理解と援助について研究する。 [研究分野] 臨床心理学、健康・医療心理学、特に認知行動療法	大西 彩子 教授	児童期・青年期の心の問題について、先行研究を調べながら考えていく。 [研究分野] 臨床心理学、社会心理学、教育心理学
川田 都樹子 教授	現代の芸術や文化を体験的に学びながら、各自がテーマを決めて研究発表し、全員でディスカッションする。 [研究分野] 近・現代の芸術・文化論	北川 恵 教授	親子関係と人格や心の健康との関連について考えたり、親子関係支援について学ぶ。 [研究分野] 臨床心理学、人格発達理論、親子関係の理解と支援
西 欣也 教授	芸術論、現代文化論、哲学思想の領域からさまざまな問題を取り上げ、価値や現実感覚とその歴史的社会的条件との関係を論じる。 [研究分野] 美学・芸術学、哲学思想史	西尾 千尋 准教授	子どもや大人の日常の行動の発達プロセスについて、身体と環境の関係に焦点を当てて理解する。 [研究分野] 発達心理学、認知科学、生態心理学
野崎 優樹 准教授	「感情知性」をはじめとする、感情と対人能力の個人差および認知過程を、実証研究を通じて検討する。 [研究分野] 人格心理学、教育心理学、社会心理学	服部 正 教授	芸術とその隣接領域(福祉、教育、メディアなど)の関係を探ることで、表現行為の芸術的・社会的意味を考察する。 [研究分野] 美術史、芸術学、芸術と福祉
ファヨル 入江 容子 講師	フランス現代哲学およびフェミニズム理論を手がかりに、現代社会の構造的課題を考察する。 [研究分野] 社会哲学、フェミニスト哲学・ジェンダー思想史	福井 義一 教授	トラウマの影響とトラウマからの回復について科学的心理学の研究法を用いて検討する。 [研究分野] 臨床心理学、身体志向のトラウマケア
吉川 孝 教授	哲学の文献を精読しながら、芸術作品も手がかりに、現代社会の問題について考察する。 [研究分野] 哲学、倫理学		

(2026年度)

授業 PICK UP



博物館実習 I

博物館学芸員養成課程の必修科目。学内の展示施設(ギャラリー・パンセ)での展示実習を行う授業です。少人数のワークショップで、学生たち自身が展示会のテーマを決めて、展示作品の選定、展示デザインや展示プランまで立案。さらに広報活動や実際の作品展示、期間中の運営まで、展示会にかかわるすべてを体験学習します。

展示会にかかわる業務をすべて体験!
仲間と一丸となって取り組んだ
ひと夏の経験はかけがえない記憶に

文学部 人間科学科 3年次 伊藤 舜介さん
兵庫県・甲南高校出身
2年次に履修した博物館実習 I。仲間と話し合っって決めた今回の展示会タイトルは「複製画によるどうぶつ展」。作品の選定や配置順などを決めたあとは、作品を額装したり、看板類を作ったり、寸法を測って釘を打ったり。真夏の大工仕事は想像以上に大変でした。ポスターやチラシの制作、作品展示や運営などにもすべて携わり、好評のうちに会期を終えることができました。展示会の成功に向けて全員が同じ思いでがんばった、この一体感は今も強く印象に残っています。



歴史文化学科

歴史学・地理学・民俗学の研究手法を使い、史料・資料の読み解きとフィールドワークを通じて日本と世界の歴史文化を横断的に探究します。学生は日本史・アジア史・西洋史・地理学・民俗学にわたる幅広い視野を身につけながら、各自の関心に沿ったテーマを掘り下げ、専門的な学びを追究していきます。



POINT 1 鋭い観察眼を養い、知的探究活動を実践する少人数ゼミ

「演習」では、少人数のゼミ形式で、卒業執筆につながるテーマの研究を進めていきます。史料・資料の扱いを通じて「分析力」「文章力」「情報処理力」を身につけるだけでなく、ゼミでの議論を通じて「他者の声を聞き、判断する力」「他者を説得する力」など「コミュニケーション能力」や「共感する力」も身につけることができます。これらのスキルは社会に出てからの基本的な素養にもなります。

POINT 2 専門教育に根差した、「教員養成課程」「博物館学芸員養成課程」

中学・高校の教員資格と博物館学芸員資格の取得が可能です。学科での専門的な学びをベースとして、各分野で実践力を備えた人物を送り出しています。



取得できる資格

- 中学校教諭一種免許(社会)
- 高等学校教諭一種免許(地理歴史)
- 博物館学芸員

キャリアデータはP.18へ

4年間のカリキュラム 甲南大学ならではのカリキュラムで、日本史・アジア史・西洋史・地理学・民俗学を幅広く学ぶ。



(2026年度参考)

ゼミナール(研究室)一覧 学科詳細はHPへ



教員	テーマ	教員	テーマ
佐藤 泰弘 教授	日本の古代史・中世史 [研究分野] 平安時代の貴族社会と都鄙関係	図師 宣忠 教授	西洋の古代・中世・近世の歴史と文化 [研究分野] ヨーロッパ中世史、キリスト教の異端・異端審問と社会
戸邊 優美 准教授	日本の地域社会の民俗学的研究 [研究分野] 民俗学、村落集団と社会関係	中辻 享 教授	日本および東南アジアの地誌 [研究分野] 人文地理学、日本・東南アジアの農村の暮らしと変化
中町 信孝 教授	イスラーム地域の歴史と文化 [研究分野] 西アジア中世史、アラブ大衆文化	鳴海 邦匡 教授	さまざまな時代の人と環境(地域)の関わりを考える [研究分野] 歴史地理学、日本の地図史と景観史
新見 まどか 准教授	ユーラシア東部の歴史と文化 [研究分野] 中国史、唐・五代期の政治・軍事・国際関係史	東谷 智 教授	日本の近世・近代における国家・社会・経済・文化 [研究分野] 江戸時代の社会とその仕組み、史料の整理・調査論

(2026年度)

授業PICK UP



博物館実習Ⅱ(集中講義)

学芸員養成課程の必修授業の一つで、博物館での実務について理解を深めるとともに、課題を発見して提案する力と多角的な視点の修得を目的としています。集中講義では実際の博物館に3日間赴き、観察して理解を深め、少人数のワークショップで展示や広報などのプランを立案、発表します。また実際の展示やポスター・教育キットの作成なども行う場合があります。

博物館の実情を理解しながら、私の新たな一面にも気づけた価値ある体験

文学部 歴史文化学科 3年次 森川 芽郁さん
兵庫県立網干高校出身

かつてブラジル移住者が準備のため滞在した施設に作られた「海外移住と文化の交流センター」の博物館で実習。予算を意識しながら、施設の維持管理と魅力の発信を両立できる展示室の企画を考えました。グループ内で意見交換を重ねて生み出したアイデアは、移住者の1週間を模擬体験できるガイドツアーです。人前に立つことが苦手な私も発表ではガイド役に挑みました。仲間と力を合わせることで、協調性やコミュニケーション力も大きく成長。消極的だと思っていた私自身の新たな可能性に気づけた体験でした。



甲南大学だからできる、深い学び [ゼミ・研究紹介]

さまざまな角度から人間の知識や文化の根源を探究する文学部では、多様で個性的な研究が行われています。

日本語日本文学科



田中 雅史教授 文学とナルシズム

ナルシズム(自己愛)の心理学と 文学研究をつなげる

村上春樹や、小野不由美の〈十二国記〉シリーズのような現代の作品を、幼児期の精神分析の心のモデルや、アニメ・漫画などと比較して研究しています。ナルシズム(自己愛)は、現代社会の中で広く見られる問題です。若い世代がとられやすい、SNSでの承認欲求などもナルシズムの一種だといえるでしょう。ゼミでの研究を通してそうした現代社会の心理的・社会的な問題を考え、理解していきます。文学作品を心理学や漫画やアニメなどの他のジャンルと比較して、自分が面白いと思う作品について発表し、意見交換していきましょう。

POINT

- 心理学やアニメ・漫画などと比較して、文学作品を研究します
- 作品を通して、現代社会の心理的・社会的な問題への理解を深めます

MESSAGE

若いうちに、自分が美しいと感じるいろいろな作品に触れて心を豊かにすることは、大きな財産になります。さまざまな作品に向き合い、理解を深めていきましょう。

岩井 学教授

英語圏文学作品の分析

イギリスを中心とした英語圏の 文学作品を分析・議論

『ハリー・ポッター』、『ドラキュラ』、『ピーター・パン』といった良く知られた作品から、まだ翻訳のない新しい作品まで、イギリスを中心とした英語圏の文学作品を取り上げて、さまざまな角度から分析・議論します。県内外の他大学のゼミとの合同発表会や交流会も開催しています。取り上げる作品は、ただ物語を楽しむだけでも十分に魅力的です。しかしそれだけに留まらず、文学テキストへのアカデミックなアプローチを通して、作品の文化的背景や描かれている世界の奥から見えてくる思想などを分析し、さらに深い面白さを追求していきます。

MESSAGE

アカデミックなアプローチのために学問として文学作品をとらえます。作家や時代背景、さらに批評の方法論を学んで作品を読み解き、多様な読みが可能な文学研究の面白さを体感してみましょう。Join us!

英語英米文学科



POINT

- 誰もが知っている有名作品から翻訳されていないものまで、英語圏の文学作品に触れることができます
- 文学作品へのさまざまなアプローチを学び、実践することでアカデミックな分析や議論の面白さを体感できます

社会学科



POINT

- 推し活という「集会的沸騰」のメカニズムを、さまざまな角度から分析します
- 推し活の、社会の中でのプラス・マイナスの作用や機能を明らかにしていきます

北川 恵教授

親子関係支援活動への参加

親子関係における安心感の重要性の 「気づき」を核にした親子関係支援

心の発達における親子関係の重要性について、また、よりよい親子関係を育むための心理学的支援について研究しています。子どもが親から安全と安心を得ることの大切さを親にわかりやすく伝えるために、アメリカで開発された親子関係支援プログラムを日本に導入・実践し、学生も支援活動にかかわっています。自分が親になるまで子どもとかわる経験が無い、ということも親になってのとまどいにつながることもあります。大学生のみなさんが、乳幼児や子育て中の親世代と交流する機会をもてることも、大切だと感じています。

MESSAGE

人間科学科では、心理学と合わせて哲学や芸術学も学べます。人の心を理解し支えるために、広い視野で人間理解を深めましょう。

阿部 真大教授

集会的沸騰としての「推し活」研究

さまざまな角度から

「推し活」のメカニズムを調査・分析

「推し活」について、推し活と臨場性、推し活とモノ、推し活と生活といったテーマを掲げて調査・研究しています。なぜファンは推しに会いに行くのか、なぜファンはファンに会いに行くのかを分析したり、ファンにとって推しグッズとは何なのか、推しグッズで何を表現するのかといった、モノと思い出や自己表現のかかわりを調べたり、推し活はファンにどのような力を与えるのか、なぜ推し活ではお金の溶けていくのかなどについて、それぞれに問いを立てながら、研究を進めています。推し活という「集会的沸騰」のメカニズムについて知ることで、社会の中におけるその機能を明らかにしていきます。

MESSAGE

教科書には書いていない「問い」と「答え」を求めて現場で格闘する、「知の技法」を身につけていきましょう。

人間科学科



POINT

- 子どもが親から感じる「安心感」の重要性を伝え、親子関係の支援を実践します
- 乳幼児や子育て中の親世代との交流を通して、視野と知見を広げることができます

戸邊 優美准教授

日本の地域社会と民俗学

目と耳と心で伝承をとらえる 民俗学のフィールドワーク

地域社会の組織集団や祭り行事、衣食住など、世代を超えて伝承されてきた歴史文化を対象とする、民俗学を研究しています。民俗学で重視されているのは、目に見えること・耳で聞こえること・心で理解できることの三つの伝承。文字やモノの資料を調べるほか、自ら現場に足を運び、人々と接して、地域の伝承について理解を深めていきます。ゼミでは、神戸市内の民俗文化財を巡検するなどフィールドワークを行い、民俗調査の方法を学びながら、信仰・工芸・祭り・観光・口承文芸などさまざまな研究テーマに取り組みます。

歴史文化学科



POINT

- 伝承されてきた歴史文化をフィールドワークや史料・資料で研究する民俗学
- ありふれた日常の中に問いを見つけ、民俗調査をとらえて明らかにしていきます

MESSAGE

フィールドには思いがけない多くの気づきがあります。歴史文化を問い、調べる方法と思考を身につけていきましょう。



甲南大学だからできた私たちの無限大

My KONAN Style

在学生インタビュー

先輩たちは、4年間の学びの中で何を感じ、何を得て、何をめざしているのか。

甲南大学だからこそできる、リアルな体験を聞きました。



Style 3

地域課題の解決に挑む そのための実践的な学びが力に

文学部 社会学科 3年次 足立 晴さん
兵庫県立西宮高校出身

Q 特に印象に残っている授業、その理由は？

1年をかけ調査計画からフィールドワーク、報告書作成まで行う「社会調査実践研究」です。私のクラスでは、「神戸・阪神地域における市民活動の現在」をテーマに調査。NPO活動にも参加し、ずっと興味をもっていたまちづくりに絡めた実践的な学びができました。主体的に動く積極性や行動力も養えたと思います。

Q 大学で得た知識や経験をどう生かしていきたい？

大学の地域プロジェクトなどを通し、地域の課題発見から解決に至るまでの具体的な活動、さまざまな苦労や試行錯誤などを知ることができました。地域の方々が自主的に参加し、長く続けていける取り組みの重要性を実感。さらに学びを深め、まちづくり・コミュニティづくりにかかわる仕事をめざしたいです。



里山保全活動で守る!地域の未来

多彩な内容のリンク・プログラム 不安より興味を優先して正解でした

文学部 日本語日本文学科 4年次 鷲田 丈記さん
兵庫県立御影高校出身

Q 学科の枠を超えて学んだ感想は？

リンク・プログラムは他学科の科目も体系的に履修できる新制度。私は社会学科の授業で構成されるプログラムに挑戦しました。専門外の学びに不安もありましたが、著名な社会学者の考え方や当時の社会の風潮など、内容も興味深く面白かったです。何より掘り下げて考える力が養われました。

Q 甲南大学文学部の魅力は何ですか？

ミディアムサイズの大学だけに「とにかくどこにでも手が届く」という感じ。ゼミの佐伯教授をはじめ先生方との距離も近くて質問がしやすい!10号館には学科ごとの図書室があり、日本語学研究に必要な各時代の辞書や書籍もぎっしりそろっているので、卒業研究もはかどります。

Style 1



学科の図書室で研究に集中

Style 4

心理学の知識を生かせる教員として 教育現場での諸問題にアプローチ!

文学部 人間科学科 4年次 伊藤 ちかのさん
兵庫県立尼崎稲園高校出身

Q 卒業研究はどのように進めていますか？

心理学ゼミに所属し、義務教育期間中に受けた教育が性的マイノリティに対する肯定度に及ぼす影響について研究しています。200人以上の大学生に質問紙調査を行い、その結果を分析して論文にまとめています。実際の教育現場ではどのように伝え教育しているのかにとっても興味があります。

Q 卒業後の進路は教育関係ですか？

1年次から教職課程を履修し、並行して小学校教諭一種免許取得プログラムを受講。必要な単位を修得して免許状を取得し、無事に地元兵庫県の教員採用試験に合格できました。卒業後は小学校教諭として子どもの心に寄り添い、不登校などの問題解決に発達心理学の知識を生かしたいです。



教員採用試験の勉強方法を発表!

カナダ留学で実感した成長 日本の魅力を英語で世界に伝えたい

文学部 英語英米文学科 4年次 藤本 道大さん
兵庫県立北須磨高校出身

Q 印象に残っている授業は？

留学生と一緒に受講する『ジャパンスターディーズ』です。留学生と日本や海外の文化について、英語でディスカッションを行い、海外から見た日本を学びました。最初は英語がうまく話せず挫折しそうになりましたが、友達になった留学生と話すために、英語の勉強に熱心に取り組むきっかけとなりました。

Q 大学生生活のターニングポイントとは？

3年次後期に行った、3か月間のカナダ留学です。ホームステイ先でも積極的に話すことを心がけ、大幅に英語力を伸ばすことができました。おかげで今では、バイト先の洋菓子店で海外のお客様に英語で対応。将来は英語を使って、地元・神戸の魅力を世界に伝えていきたいと考えています。

Style 2



多くの学びを得た留学

Style 5

本物に触れる学びと楽しみ 歴史の魅力を発信したい

文学部 歴史文化学科 3年次 坂本 朋磯さん
大分県・大分東明高校出身

Q 甲南大学を選んだ理由は？

小学生のころに大河ドラマを見て歴史に興味を持ち、深く勉強したいと思うように。甲南大学は史跡や博物館の多い関西に位置し、京都や奈良を実際に訪問して本物に触れられる環境が魅力でした。オープンキャンパスで「歴らぼ」という歴史好きが集まる場があると知り、自分もここで活動したいと思いました。

Q 大学生生活で印象に残っていることは？

先生や先輩方と、京都や奈良の史跡に行ったことです。本物に触れる大切さと、先生の着眼点や知識を知ることによって学びが深まりました。学芸員課程では、実際に博物館などの収蔵庫に入る貴重な体験も。将来は学芸員資格を取得し、地元の若い世代に歴史の魅力を発信したいと考えています。



歴らぼの仲間たちと古地図を持って歩く街

甲南大学だから実現できる、理由がある

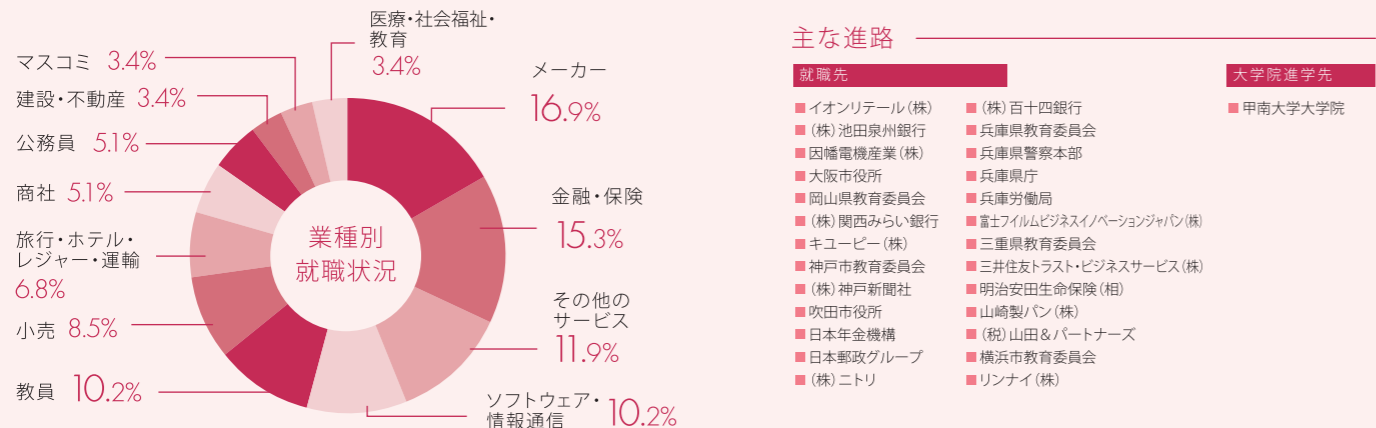
KONAN DATA

[文学部 編]

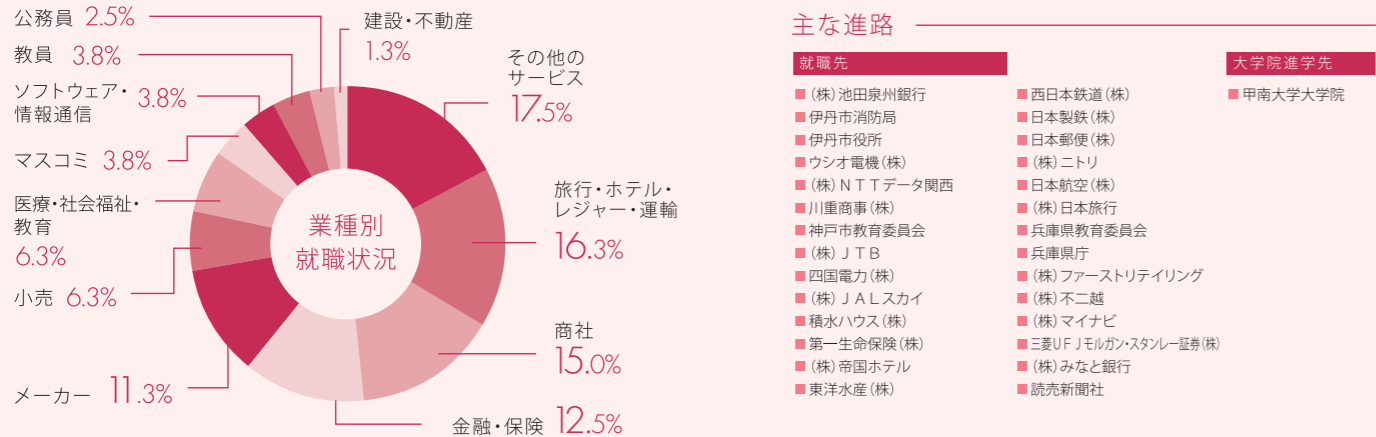
甲南大学文学部の先輩たちが掴んだ未来を、就職関連のデータから紹介します。

業種別就職状況…2025年3月卒業生 ※小点数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。 主な進路…2023～2025年3月卒業生

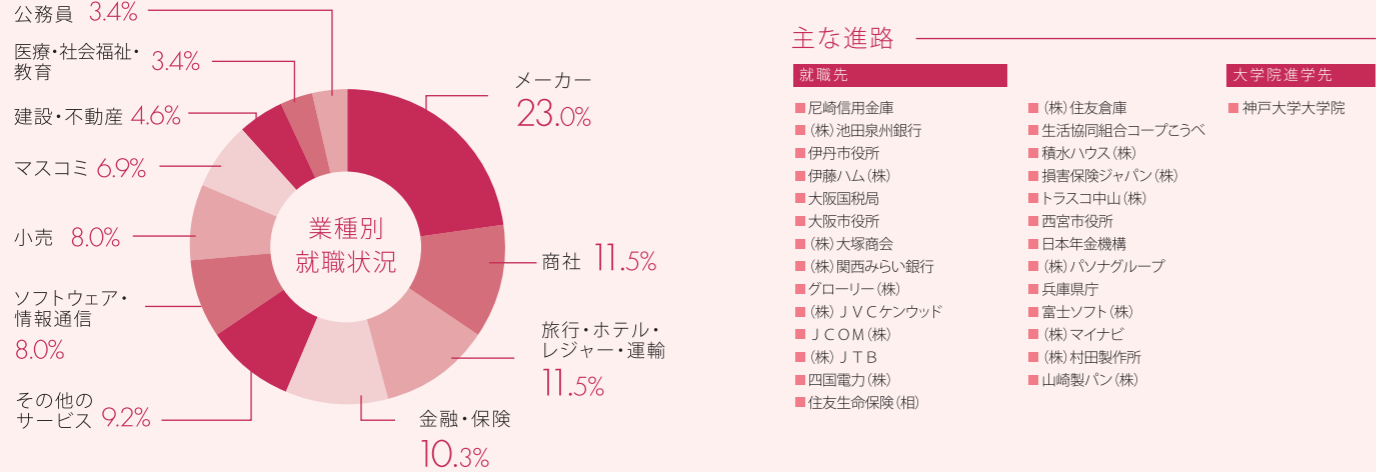
日本語日本文学科



英語英米文学科



社会学科

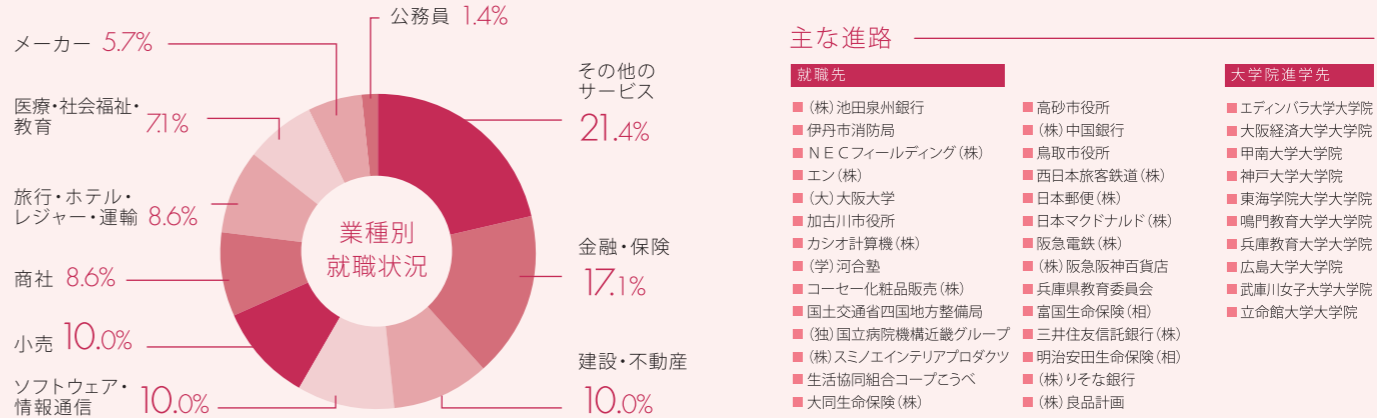


社会で必要な力を磨き、多様な将来へ

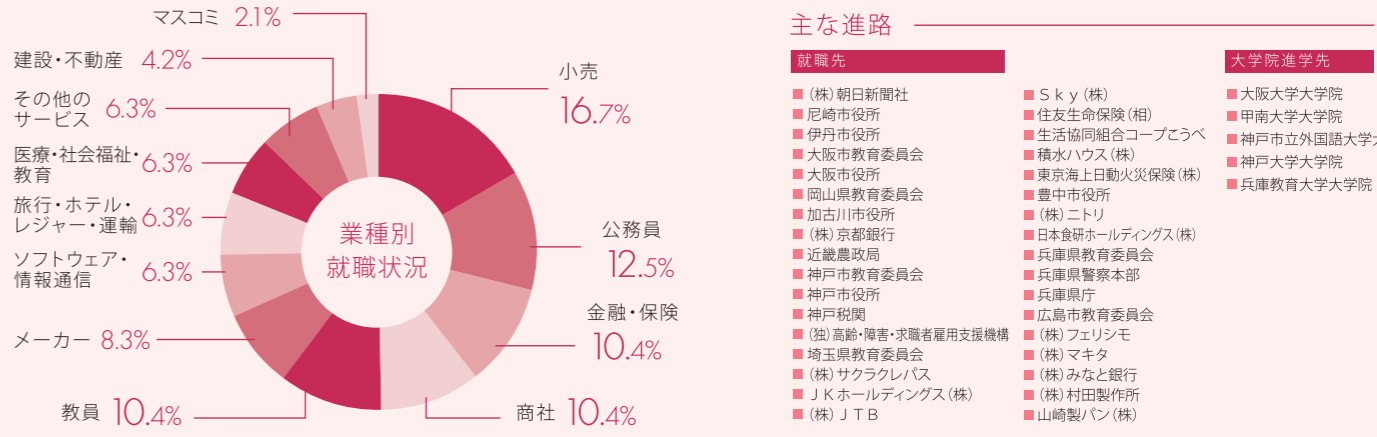
文学部では学生各自が専門テーマをしっかりと学び、卒業研究を仕上げる過程において、考える力・伝える力など社会人に求められるさまざまな能力を身につけることができますので、卒業後は幅広い業界・業種・職種で活躍することが可能です。



人間科学科



歴史文化学科



GRADUATE'S INTERVIEW



学んだ「Life is a series of a presentation」という言葉を胸にステップアップできるようチャレンジを続けます

京セラ株式会社 勤務
本間 新吾さん 文学部 英語英米文学科 2020年卒業

大学の留学生との交流の場「Global Zone」で国際文化に触れる面白さを知ることができ、就職活動中に国際経済への興味がわき、海外で働く可能性がある京セラ株式会社に入社しました。ここでは、チャレンジ精神を大切にしてくれる会社です。働く中で最も大事にしている事はGlobal Topicsの授業で教わった「Life is a series of a presentation」という言葉です。国内で電子部品を扱う営業を担当していましたが、積極的に自己表現をする姿勢を評価いただき、入社4年目の25歳で米国に研修生として赴任することができました。少しでも早く赴任先の米国子会社との協業をリーディングする人材になれるよう努めます。